

会員数 58名 出席者43名・欠席者11名・免除会員9名
欠席者 麻田・和泉享・後藤・加内・松山・中野昌・曾川・岸上
大山・齋賀・谷川-会員

前々回出席率 60.7% (2/18)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 和泉 清憲
幹 事 細谷 誠
会報委員長 大西 信亮

お知らせ

3月のプログラム

2 (No.1)-客話
9 (No.2)-60周年特別委員会
16 (No.3)-休会
23 (No.4)桜の植樹
30 (No.5)IM報告

ニコニコBOX;

祝誕生月
細谷君 山本広之君
60周年特別委員会経過報告を
終えて
秋山憲夫君

<ニコニコ会計累積/¥304,000>

がんばるBOX;

出席できなくて
林君 有家君
誕生日、75回苦勞する免許更新
増田君

<がんばる会計累積/¥148,500>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

■会長挨拶

プラスチック問題と海洋汚染

日本では、2019年実績で1年間に850万トンものプラスチックが廃棄されています。そのうち、約47%のほとんどが使い捨て用途の容器です。1人当たりのプラスチック容器包装廃棄量は、アメリカに次いで世界第2位となっています。プラスチックは生産にも大量のCO2を排出しており、2019年には、プラスチックに由来するCO2排出は標準的な石炭火力発電所が1年間に排出するCO2排出量の189基分にのびりました。

海には毎分約トラック1台分のプラスチックごみが流れ込んでいます。そのうち94%は海底に堆積し、1%が海面を漂い、5%が海辺に流れついています。海には、現在5兆個ものプラスチック片が存在し、これは地球を400周以上できる量です。1950年以降世界で製造されたプラスチック製品のうち、これまで63億トンが廃棄物になったと考えられていますが、その約79%、49億トンは埋め立てや投棄によって処分されています。12%にあたる8億トンは焼却処理されており、この時には当然CO2が発生しています。日本のプラスチックごみのうち「リサイクル」されたと発表されているものは2019年のデータで85%となっていますが、そのうち材料として再生利用される「マテリアルリサイクル」は22%。大部分の61%はサーマルリサイクル＝燃やされて熱利用され、大量のCO2を排出してしまっています。再資源化を伴わないサーマルリサイクルは、国際的にはリサイクルとして扱われていません。

私たち生活者自身が使い捨て文化から脱却することが、プラスチックごみ問題を解決する最も有効な手段です。

■幹事報告

①地区大会懇親会について 例年と異なり、19日金曜日に晩餐会と一般会員も参加の懇親会が合同で開催されます。つきましては是非懇親会からご参加いただきますようお願いいたします。

②坂出東RCとの合同観桜会について 案内では坂出駅集合となっていたのですが、会場の城山温泉様が丸亀までバスを出していただけるということです。バスの乗車希望人数を早めに確認したいと思いますので、連絡をお願いいたします。

■例会事業;60周年特別委員会 進捗について

60周年特別委員会委員長 秋山憲夫会員

2022年7月よりそれぞれの委員会が活動をスタートしました。それぞれの委員会より進捗報告をしております。60周年は人間で言うところの還暦、これからの存在意義、方向性を見直すタイミングになるかと思っております。皆で良い会にしていきたいと思います。

■総務委員会 富田委員長

案内を4月1日に送付予定、招待状は合計155名＋奥様方、欠席等がありまして最終的には150名～155名程度になるかと思っております。記念品については今回は在籍年数を基準に贈呈予定です。

■記念事業委員会 岡田委員長

ナターシャ・グジーさんのコンサートから始まり、10年の幸福写真展(平井慶祐氏)、全6回の市民講座(12名登壇)を記念事業として企画致しました。残すは3月25日(善行表彰を併催)、4月22日の2回となりました。良い話を市民の皆様へ伝えることがもっと出来ればと考えております。皆様、周りの方お一人でもご参加頂けると嬉しいです。また、3月23日に記念植樹を行います。丸亀競技場にて例会事業を兼ねて行いますのでご出席お願い致します。また、福祉活動として障害者施設「とまと園」にてICTを導入する活動を松村会員を中心に進めております。



式典委員 谷本委員長

記念式典について3月末には詳細が決定致します。場所はオークラホテル、日時は6月3日(土)となります。司会者は中野美奈子様、ロータリーからは副SAAの林様になります。

5月27日の記念講演は多忙の中、厚生労働省の事務次官を務められた村木厚子様をお願いしております。場所はマルタスにて行います。

祝宴委員 天野委員長

祝宴は6月3日(土)になります。時間は13時～集合写真を13時半を予定しております。会場はオークラホテル内にてゆとりを持って行いたいと考えております。奥様方のご協力もお願いします。

記念誌委員 塩田委員長

2023年11月を発刊予定しております。ただし、懸念事項として昨今の物価上昇に伴い役4割の値上げとなっております。皆様にご協力頂く部分もあるかと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

市民講座 東原隆啓会員 「NISA制度を活用した資産形成」(2/18)

本日のテーマは「NISA制度を活用した資産形成」です。よろしくお願いいたします。本日の内容は特別なものではないですが、実践する人とならない人では、遠い将来大きな差がつくかもしれません。このセミナーでは、資産形成商品の一般的な話をしますが、推奨や勧誘目的をするものではありません。具体的なご相談はお取引先の金融機関にお願いします。



貯蓄を増やすには

お金を増やすには給与から税金などを差し引いた手取りから支出した残りが貯蓄にまわります。最近多い課題は、積み立てたいけど支出が減らないこと、積み立てても金利が低く増えないというものです。お金を貯める目的は？

貯蓄目的の1位は老後の生活資金です。お子様の教育資金や住宅資金という年代もありますが、何十年先のために貯蓄をしているのが実態です。

みんなどうやって貯蓄しているの？

貯蓄の方法は、預金が6割、他に生命保険や年金保険などがあります。貯蓄の8割近くが円建てと安全確実がキーワードになっていますが、金利が最低な現在、預金で貯めるとはどういうことでしょうか。

預貯金で貯めるということは・・・

金利0.001%で毎月1万円を30年で360万積み立て場合の利息は、289円にしかなっていません。元本は確保されていますが、物価が上昇すると実質的に目減りしていることとなります。諸外国と比較しても日本の私的年金や非年金貯蓄としての収入割合が10%と低く、家計貯蓄率も低い状況です。

金融行政方針

昨年、金融行政方針「資産所得倍増計画」が発表されました。資産所得倍増プランの根底にあるのは、投資を通じて、個人としては「老後不安の解消」、経済としては、「企業へのリスクマネージメントの供給」や「消費活動の活発化」による景気浮揚、金融業界としては「健全な金融市場の育成」という「三方よし」を目指し、より良い日本を作りたいという意向があります。最大のポイントは「貯蓄から投資へ」です。収入を貯蓄に回しすぎると、消費の不振を招き、日本の停滞や閉塞感の一因になっており、投資は必要で、長期的で計画的な視点を持ち、資産形成を行うことが重要です。

低金利時代の賢い資産形成方法とは

将来に向けた資産形成には早めのスタートが大事です。積み立て目標に対し、年数によって月の積立額が変わるので、無理のない計画が肝要です。老後に向けて資産形成を支援する制度の活用が有効です。そこで、iDeCoによる資産形成についてですが、個人が任意で入る個人年金で税制優遇があります。しかし、運用期間中は原則解約できませんので、収入の多くない人などにはお勧めできません。

つみたてNISAは20年間非課税、リスク分散、商品を選びやすい、少額からできるなどの利点があります。金融庁が提唱する「長期・つみたて・分散投資」も重要です。つみたてNISAとiDeCoをイイトコ取りで併用するための活用法として、長期的に成長する資産に投資することです。

令和5年度税制改正で、NISAが格段に使いやすくなる

2024年からのNISAは、①積み立て投資枠と成長投資枠を併用可能に、②年間投資額の増額、③投資可能期間と非課税機関の恒久化・無期限化、④生涯非課税限度額の増額などが改正の見込みです。税制特典がある制度として、新NISA、iDeCo、平準個人年金がありますが、メリットデメリットを検討しましょう。

まとめ

効率的な積み立ての方法を理解していただけたと思いますが、金融機関でも皆様のライフプランをサポートさせていただいています。最寄りの金融機関にご相談ください。本日はありがとうございました。